

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2000-250102(P2000-250102A)

【公開日】平成12年9月14日(2000.9.14)

【出願番号】特願平11-50704

【国際特許分類第7版】

G 03 B 15/02

G 02 B 5/04

【F I】

G 03 B 15/02 S

G 02 B 5/04 G

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月13日(2005.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

光学プリズム11の被写体側の前面には、左右方向(X方向)の配光特性を制御するプリズム面11dが形成されている。また、上下方向(Y方向)の配光特性の制御は、主に照射光軸前方に射出された光束を入射させ屈折によって所望の配光特性に変換させる正面入射面11aと、主に照射光軸に対して上下方向に射出された成分を入射させる上方入射面11b、上方入射面11bから入射した光束を全反射させる全反射面11cによって行われている。形状に関しては後で詳しく説明する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

次に、光学プリズム1の全反射面1cに入射光を導く第2の入射面1bの形状を決定する。この第2の入射面1bの形状として、光学プリズムの形状を最小にするためには、光軸1Zと平行な平面であることが望ましい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0141

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0141】

また、入射面8b, 8bの角度、各入射面で制御後のそれぞれ射出最大角度の関係、さらに、入射面の境界線と光源中心とを結んだ線分と射出光軸となす角度_{bdr}とすると、本実施形態はそれぞれ以下の値をとった時の状態を示したものである。

$$= 0^\circ \quad | \quad \max / \max | = 1.0 \quad bdr = 38.6^\circ$$

【手続補正4】

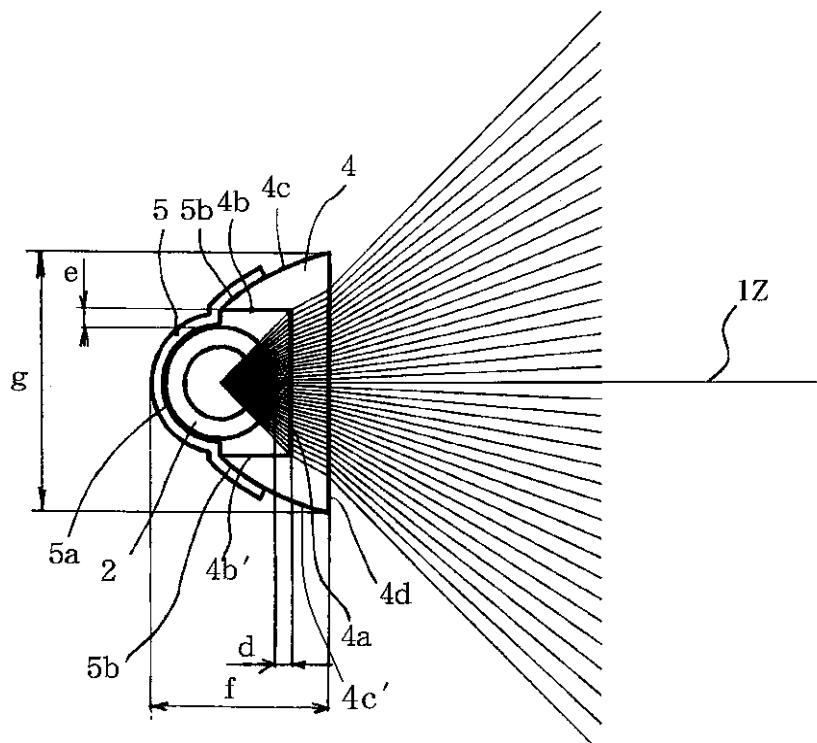
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図7】



【手続補正5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図13

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図13】

